

しげくに 重国たけしの まちづくりニュース



しげくにたけし
日本共産党狛江市
環境まちづくり推
進室長
sigeny@nifty.com
090-1775-9052
「民報こまえ」
発行：日本共産党
狛江市委員会
岩戸北1-10-6甲武
ビル1階

2024年は
激動の年でした
2025年も
頑張ります



今年の11大ニュース

① 学校給食費が無料に

24年1月から市立小中学校で学校給食費の完全無料化が実現。

昨年の市議選では財源も示し目玉公約に。

共産党は、都政でも国政でも一貫して要求。運動と論戦で壁を崩す。

当初は困難としていた狛江市も

都が補助を打ち出す

すもとで実施を法断。

年明けには都内全自治体で無料化(都立、市区町村立小中学校)。さらに、制度存続と教育費負担軽減へ。

やったね!



化(喜)料(無)費(無)給(食)を(訴)え(見)る(多) 23年

② 図書館住民投票署名

図書館の在り方は市民の意見で決めようと、分割移転計画を問う住民投票を

求める直接請求署名が法定数の3倍の4060筆に。

署名を集める受任者は260人以上。私も駅前地域で、多くのみなさんに署



駅前・市役所前などで「図書館住民投票の会」のみなさんと一緒に繰り返しました(2月、狛江駅)

③ PFAS汚染狛江でも

子どもたちの声がうるさいから」と、おとなの本とこどもの本をバラバラの離れた施設に配置する分割計画は多くの市民が疑問視。

市民参加条例に定められた手続きを行わず、市長が強行。狛江の文化・民主主義が危ぶまれる事態。

図書館は26年10月まで、公民館は25年10月まで休館。

発がん性のあるPFAS(有機フッ素化合物)が多摩地域の地下水を汚染。狛江市内の井戸(非飲用)でも引き続き高濃度検出(23年度都調査で最大200ナノグラム/L。暫定指針値は50ナノグラム)。市民団体調査で狛江市民の血液

名に協力いただきました。市民が市政を動かした5月に臨時議会開会。市民代表が議場で訴え、100人の市民が傍聴しましたが、議会多数(自民、公明、分・維新と高木・小木・吉野の各議員)が否決。賛成は、共産党(宮坂、西村、岡村、荒木)と平井議員。

中にも蓄積(京大・原田研究室調査で三分の一が欧米の基準値超、23年)。米軍横田基地が主な汚染源であることがいっそう濃厚に。汚染は全国の基地、工場、産廃などに広がっており、自治体による血液検査も。アメリカは水質基準を4ナノグラムに強化し、水・土壌の汚染除去を実施。日本政府は「健康被害事例の確認ない」血液検査は不安増すなど、後ろ向き。



パネル展(2月) 公民館のついでに中央公民館のついでに実施。パネル展などを実施。

④ バス減便相次ぐ



運転手不足等を背景に市内各地でバスの減便が相次ぐ。とりわけ八イタウンを経由するバス便では、京王バス路線が昨年的大幅減便に続き完全撤退(12月)、小田急バス路線が大幅減便(日中約4時間の空白、終バス繰上)。

重国たけしは、日本共産党市議団とともに小田急バス本社へ要請。地域公共交通



田小にも(4)も参加し、とと(4)もこまバスとと(4)も変更などのルート改善を要請。共産党市議団にも要請。共急望。

⑤ 野川側道陥没で補修

野川沿いサイクリング道路で発生した小規模陥没(谷戸橋付近、直下に外環道)を、外環道事業者が管理者(狛江市)に連絡なく埋め戻していた問題(「しんぱん

ん赤旗」がスクープ報道)。

調布大陥事故(20年)の経験から外環道工事の影響に住民不安が高まっており、山添拓参院議員、都議団も追及。重国たけしも国交省に安全確保要求(QR動画)。



狛江市も対応し、表面付近の調査(昨年12月)・補修工事を実施(2月)。共産党は深い部分へのボーリング調査も求めたが実施されず。



事業者による調査の布陥没付近住民への監視も問題に。

⑥ 狛江駅北口樹木伐採

狛江の玄関、駅北口の樹木伐採と植栽撤去の計画に、「景観と緑を守って」と多数の市民が見直し求める。インターネット署名も500筆に。



樹木の保全求める陳情は

自公維などが否決(6月)。

その後市は、伐採予定11本から、泉の森会館前のヤナギなど3本保存、4本移植、4本伐採に一部見直し。「賑わいづくり」優先で市民意見を聞かず推進。「水と緑のまち狛江を大切にする会」(重国たけしも参加)の駅前シールアンケート(7月)には市民の関心高く約70人のほとんどが「緑を減らさないで」と回答。



シールアンケート(狛江駅前)

11月までに樹木伐採と強い剪定が実施され、駅前の緑が減少。

猛暑対策としても、世界中で推進されている樹幹被覆率向上は都市の重要課題。検証と回復への対策が求められる。神宮外苑の大規模伐採問題とも合わせ、今後ままちの緑を守り増やすためにとりくむ。



⑦ 物価高騰・コメ不足

今年も物価の高騰は止まらず、実質賃金低下、年金・社会保障切り下げで、暮らしはいつそう厳しく。

夏にはスーパーでお米が買えない事態。新米出荷後も価格は1.5倍に急上昇。背景に、アベノミクス以来の経済失政と農業破壊政治。

⑧ 気候危機・地球沸騰化

「観測史上もつとも暑い夏」更新。熱中症搬送者約9万7千人(6千人増加)と最大。日本政府の対策は、目の経済優先で、石炭火力に固執、温室効果ガス削減目標も低レベル。危険で高価な原発推進と世界に逆行。

⑨ 総選挙で裏金自公大敗

裏金政治への国民の怒りで、自民・公明が衆議院で過半数割れ。密室政治・強行採決が通らない国会で新



国会で新

しい可能性。自民は政治歪める企業団体献金に固執。

⑩ 被団協ノーベル賞受賞

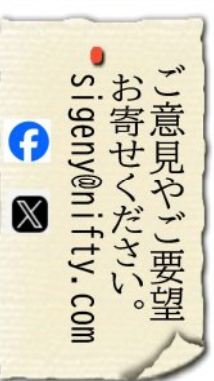
核兵器の非人道性を世界に訴え、核兵器を使わせない核タブーを国際社会に確立、核兵器禁止条約を誕生させた被爆者団体協議会がノーベル平和賞を受賞。

⑪ 能登半島の災害

1月に地震、9月に豪雨災害の二重災害。「災害関連死」は、地震などによる直接死を上回る247人に。

【他にも】

駅前で樹木伐採の見直し求める市民に「三宅市議が「うせろ」と暴言」議会で「通行の妨げ」と誹謗―市民から「事実でない」と再抗議。昨年から続くガザでの虐殺とウクライナ侵略/防災フェアで戦車砲撃体験



ご意見やご要望
お寄せください。
sigeny@nifty.com